



令和5年10月3日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

革新的GX技術創出事業（G t e X）における 2023年度新規研究開発課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、文部科学省が策定した基本方針及び研究開発方針（蓄電池、水素、バイオものづくり）を受け、革新的GX技術創出事業（G t e X）の研究開発提案募集における新規研究開発課題を決定しました。

本事業は、事業全体を統括するプログラムディレクター（PD）の下、日本の将来の産業成長と2050年カーボンニュートラルを達成する上で重要な技術領域である「蓄電池」、「水素」、「バイオものづくり」において、分野や組織を横断した全国のトップ研究者の連携体制を構築し、革新的GX技術の創出に向けた研究開発を推進します。

今回の研究開発提案募集では、チーム型研究26件、革新的要素技術研究92件、合計118件の応募がありました。

募集締め切り後、研究開発提案は各領域において、プログラムオフィサー（PO）が領域アドバイザーらの協力を得ながら書類選考と面接選考を実施し、計31件の採択を決定しました（別紙）。

事業および選考・採択結果の詳細は下記ホームページを参照してください。

URL：<https://www.jst.go.jp/gtex/>

<添付資料>

別紙：革新的GX技術創出事業（G t e X）2023年度領域別採択件数一覧

参考：革新的GX技術創出事業（G t e X）について

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

小林 正（コバヤシ タダシ）

E-mail：[gtex\[at\]jst.go.jp](mailto:gtex[at]jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

革新的GX技術創出事業（G t e X）
2023年度領域別採択件数一覧

事業全体統括 PD：魚崎 浩平

蓄電池領域（PO：桑畑 進）

	公募テーマ	採択件数
チーム型研究	実用電池（先進リチウムイオン電池）の革新	1件
	高安全性を実現する電池開発	2件
	資源制約フリーを実現する電池開発	2件
	軽量・小型・大容量を実現する電池開発	1件
	共通基盤研究（計測やDX等共通基盤の構築）	1件
革新的要素技術研究		6件

水素領域（PO：内田 裕之）

	公募テーマ	採択件数
チーム型研究	高効率・高耐久・低コスト化を可能にする水電解システムの実現	1件
	高効率・高耐久・低コスト化を可能にする燃料電池システムの実現	1件
	高密度・高耐久・低コスト化を実現する水素貯蔵システムの開発	1件
革新的要素技術研究		5件

バイオものづくり領域（PO：近藤 昭彦）

	公募テーマ	採択件数
中核研究チーム型	微生物を中心とした次世代バイオものづくりプラットフォームの確立	1件
	植物を中心とした次世代バイオものづくりプラットフォームの確立	1件
基盤技術研究チーム型	生物間相互作用の探索・解析研究	1件
	人工系による評価システム研究	1件
	解析技術高度化・情報数理科学研究	1件
革新的要素技術研究		5件

革新的GX技術創出事業（G t e X）について

革新的GX技術創出事業（G t e X）の概要および各領域の詳細内容は、事業ホームページ（<https://www.jst.go.jp/gtex/>）にて公開しています。

事業趣旨

本事業は、日本の将来の産業成長と2050年カーボンニュートラルを達成する上で重要な以下の技術領域において、分野や組織を横断した全国のトップ研究者の連携体制を構築し、革新的GX技術の創出に向けた研究開発を推進します。

事業概要

本事業では、文部科学省が策定した「革新的GX技術創出事業（G t e X）」基本方針及び研究開発方針を踏まえ、日本のアカデミアの将来的な貢献が大きく期待できる領域として「蓄電池」「水素」「バイオものづくり」を設定し、大学・国研などのトップレベルの研究者がオールジャパンの統合的なチームで行う研究開発を支援します。領域設定については、基本方針などの改定や産業動向、研究開発動向などを踏まえて必要に応じて見直しを行います。

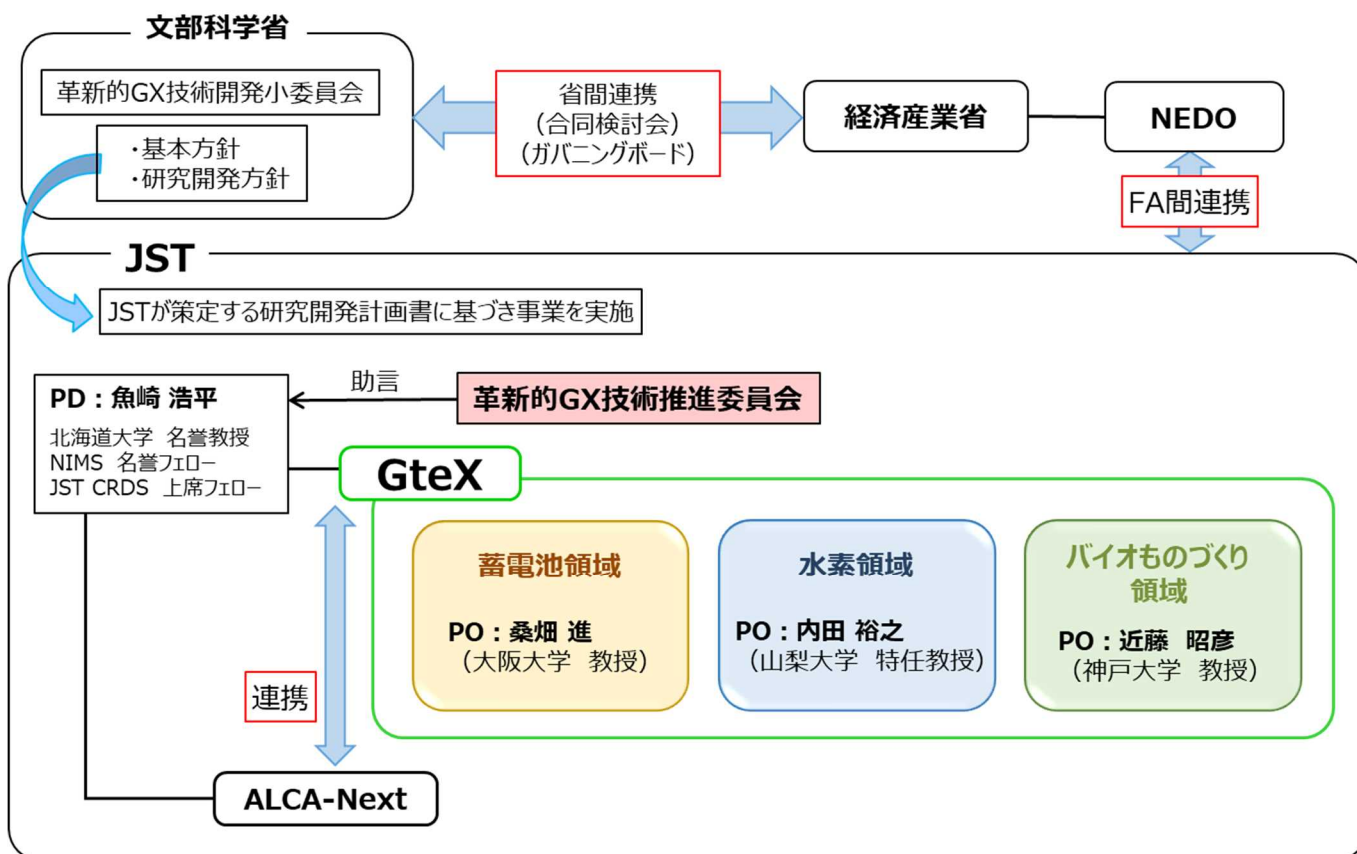


図 事業の体制